

園長だより NO98

年度の最終月、進級、就学も駆け足のごとく訪れてきます。心に少しの余裕を心がけ柔軟に対応して何事も楽しんでいけるようにしたいものです。春の訪れを感じますがまだまだ朝夕の寒暖差はあります。健康には気をつけて下さい。

心の健康を保つこと

あるアンケート調査で保育士の精神疾患率は全体の3割とも言われる結果が報告されたことがありました。何年も前のことで昨今はどのような状況にあるのでしょうか

子ども達の生活を支える保育士の業務は多岐にわたる。気ぜわしい毎日であるが子ども達のためにと労力をいとわない。

世の中は働き方改革なるものが推進され、ワークライフバランスが推進、実行され何年も経過している。生活と仕事とのバランスが保たれることを理想としているが保育業界にはまだまだ、しっかりと改善されていないのが現状です。

ある保育園でのこと心のバランスを崩した保育士が時期を重ねて3名ほどで出てしまういろいろと工面しどうにか、こうにか保育をしてきたが、保育を担ってきた方々が体調を崩すことになる。園長、主任を含め総出で保育にあたりなんとかしのいだという話を聞きました。



2024.3.1

人(数)にゆとりがあればこんな事にはならないのにとこぼしていましたが保育業界の現状は厳しいのです。 ※人を増やせば何事も解決できるわけではありません。複雑な要因があるのです。

保育運営のための資金はすべてと言っているが国、県、市が支弁しています。それもゆとりのあるものではなく、運営費の内訳は人件費に75~78% 事業費、事務費に20% 残り2%~5%が資金残高、いわゆる一般企業という利益になります。利益と言っても施設の修繕積立など近い将来に備える為の資金となります。 ※支出の内訳は各園それぞれであります

人件費、人の配置は最低基準+αであり、余剰に保育士を置くことは難しい。保育業界ではなんとかしたいと幾つかの団体が国への要望を出しているが理想へは程遠い道のりです。そのような状況下の中でいろいろな工夫をして職員処遇、環境改善に努めている園がありますが大半の園は十分な資金もなく現状を維持することが優先されてしまう。

おおぞらでも他園と類似した状況は起こるし改善のため知恵を出し、より良くなろうと注力している。

子どもを育てるにはかかわる大人は心も身体も健康な状態が好ましいとは基本である。

多岐にわたる業務を効率よくやることに異論はないが保育は人で成り立っている。人はそれぞれ性格や気質は異なる、育ってきた環境も違う。

ストレスへの耐性も回避するすべも人それぞれ異なる。失敗したことを悲観的に考える人もいれば、大丈夫ドンマイと考えられる人もいる。自分で何とかしなければとシャカリキになる人もいれば、頼れる人に助けて一といえる人もいる。

上司の助言が苦言に聞こえたり、天の声に聞こえピンチを乗り越えることもある。

それぞれ違いがあってもいいのだがなかなかみんなのことを理解しそれぞれに応じたオーダーメイド的な接し方は難しい、先にあげた気ぜわしい毎日をゆとりある生活に是正し尚且つコミュニティが循環していなくてはなりません。

当然の話をしているのですがスグに顕著に改善されるものではありません。地道に改善のための行動を継続あるのみと考えます。

心の安定を保つための行動

人に頼ることも大切、でもそれ以上に自分を知ることも大切です。自分の感じ方の癖、気質、性格からの人との接し方、ストレスの要因とその対処など、自分自身の置かれている状況や自分のことをまず理解していくことが精神衛生上では大切ではないかと私は考えます。自分のことを主観でみてしまうと「わたしはこんな人間」と限定的になってしまう。客観的にみると「そんなことはないよ こういうことやれば対応できるかも」と行動の仕方もかわる。 当然、関わる人への

思い込みもなくなっていく。保育はチームワークでと言われる。気の合う人もいれば 少々、息が合わない人もいるかもしれない。

「自分はこうしたい」が他者は異なる思いの時もあるはずである。

「こうやってくれるだろう」と思い込んでいては、結果、方法が異なることを他者がやっていけば「なんで できないの」「私の考えと違う」という感覚になってしまう。

自分自身の 見方を変えれば 行動も変わると言われているが保育ではより必要な考えだと思っています。

子ども(達)の心に寄り添う大人が言葉にならない思いを感じ取り、子どもへのアプローチを適切にする。 子どもの見せる姿(行動)に思い込みで接していれば、子どもの理解は乏しくなっていく、人が人を育て、一緒に育つということは人を思うことであると思う。

少々、脱線したが 心が安定していることが子どもにとって良い事には間違いない、

人にかかわる仕事ゆえにできるだけ健康な状態であることが子ども達や保護者、職場の同僚に前向きに、ポジティブに関わる基盤になると思っています。 私自身、加齢とともにバランスを崩すことは多々ある。 今後も努力を惜しまずに取り組みたい。

(おおぞら保育園 園長 廣部信隆)

